

平成28年度

当初予算概要説明書

山形県 真室川町

目 次

(頁)

1	予算編成の基本方針	1
2	各会計の予算規模	2
3	各種財政指数の推移	3
4	一般会計 歳入	4
5	一般会計 歳出	6
6	主要事業の概要	8
7	国民健康保険特別会計	13
8	後期高齢者医療特別会計	14
9	介護保険特別会計	15
10	町立真室川病院事業会計	16
11	水道事業特別会計	18
12	公共下水道事業特別会計	20
13	まむろ川温泉梅里苑事業特別会計	21
14	投資的事業の概要	22

1 予算編成の基本方針

政府は、誰もが生きがいを持って充実した生活を送ることができる「1億総活躍社会」の実現に向けた緊急施策や、環太平洋連携協定（TPP）の大筋合意を受けた国内対策を柱とする平成27年度補正予算と平成28年度当初予算を一体的に編成しています。

補正予算3兆3,213億円は1月20日に成立し、当初予算は、年度内の成立に向け、国会審議中ですが、その規模は、4年連続で過去最大を上回る96兆7,218億円となっています。

国の当初予算案と同時に示された地方財政計画は、総額85兆7,700億円程度、対前年度比0.6%、5,000億円程度の増としており、地方創生への取組に加え、増額分を地方の重点課題の推進に充てるとしています。そのうち、財政運営に大きな影響を及ぼすこととなる地方交付税については、地方税が増収となる中で、減少を最小限にとどめ、前年度に創設された「まち・ひと・しごと創生事業費」として引き続き1兆円を計上するなど、28年度の交付税総額を16兆7,003億円、対前年度比0.3%、546億円の減額としています。

このような情勢のもと、町制施行60周年の節目を迎える当町の平成28年度当初予算は、下記6分野の施策を推進する第5次総合計画後期基本計画の初年度にあたり、10月に策定しました「真室川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」や、主要事業の事前ヒアリングの結果を踏まえ、国や県の施策を反映し、喫緊の課題や重要施策に重点的な編成を行ったところです。

施策体系

将来像 人が輝き 町が輝き 未来が輝く まむろ川
基本姿勢 人と地域と自然が輝く協働のまちづくり

◎いきいきと働き個性を創るまちづくり

- 産業の振興
- 観光の振興
- 真室川ブランドの創出
- 自然環境保全の推進

◎健康と福祉のまちづくり

- 保健・医療・福祉体制の充実
- 元気な高齢者づくり対策の充実
- 結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実
- 障がい者福祉の充実
- 健康づくりと食育の推進

◎心豊かな人と文化を育むまちづくり

- 学校教育の充実
- 生涯学習の充実
- 生涯スポーツの充実
- 芸術文化の充実
- 地域活動の推進
- ボランティア・NPO活動の推進

◎快適で安心できるまちづくり

- 道路網の整備
- 交通体制の整備
- 住環境の整備
- 防災体制の整備
- 克雪・利雪のまちづくり
- 地球温暖化防止対策の推進
- 県・近隣市町村・関係団体との連携の推進

◎ひと・もの・こころが交流するまちづくり

- 交流の推進
- 情報ネットワークの活用推進

◎健全財政のまちづくり

2 各会計の予算規模

一般会計の予算規模は、57億6,500万円で、対前年度比6億5,500万円、12.8%の大幅な増加となり、当初予算規模で55億円を超えるのは、町立病院移転新築事業等を実施した平成14年度(65億6,000万円)以来のことです。これは、総合計画や総合戦略に掲げる政策実現のため、子育て支援住宅の整備、橋梁の架替えをはじめとする社会資本整備総合交付金事業、TPP関連対策事業である大滝前山町有林の間伐及び路網整備、町営住宅や小中学校の大規模改修の実施などによる普通建設事業費と、最上広域市町村圏事務組合分担金や国制度による保育給付負担金など補助費の増加によるものです。

特別会計・企業会計予算は、国民健康保険特別会計が最上地区広域連合への保険基盤安定制度負担金の増加により対前年度比1,990万円の増額、後期高齢者医療特別会計は県広域連合への保険料負担金の減少により対前年度比200万円の減額、介護保険特別会計は介護給付費の増加により対前年度比4,740万円の増額、町立真室川病院事業会計は患者動向に伴い、9,240万円の減額、水道事業特別会計は真室川上水道と及位簡易水道を3か年で連結する整備事業が最終年度となり5,730万円の減額、公共下水道特別会計も整備事業が最終年度となり3,060万円の減額、まむろ川温泉梅里苑事業特別会計は施設修繕等の減により1,250万円の減額となりました。

8会計合計の予算規模は、91億6,230万円で、前年度比6.1%、5億2,750万円の増額となりました。

(単位:千円、%)

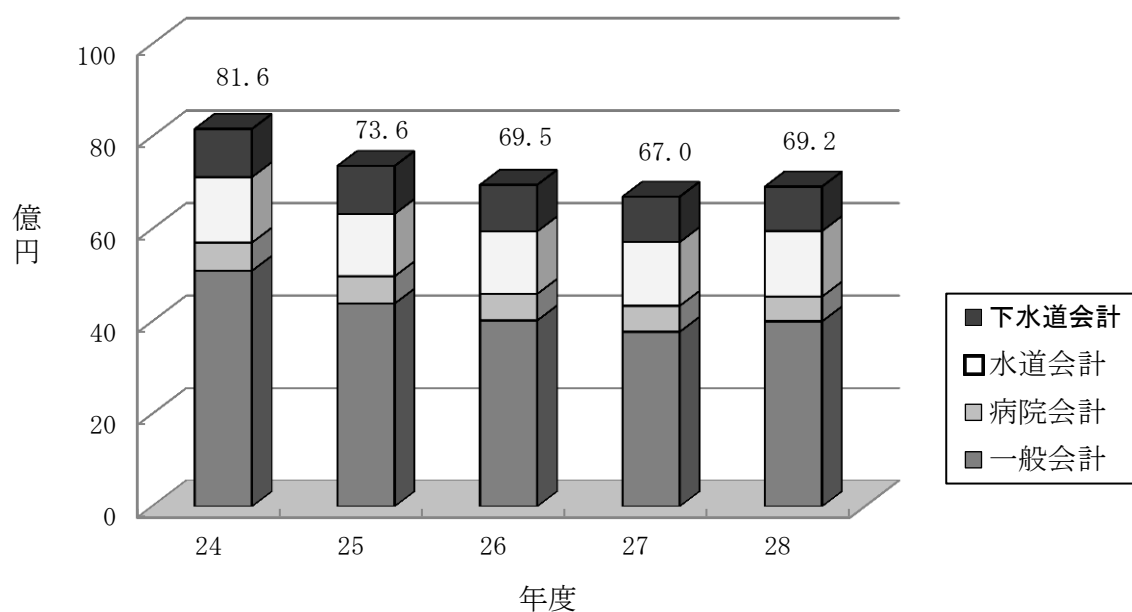
会 計 名	27 年度	28 年度	比較増減	増減率
一般会計	5,110,000	5,765,000	655,000	12.8
国民健康保険特別会計	69,500	89,400	19,900	28.6
後期高齢者医療特別会計	84,100	82,100	△2,000	△2.4
介護保険特別会計	1,125,400	1,172,800	47,400	4.2
町立真室川病院事業会計	1,178,400	1,086,000	△92,400	△7.8
水道事業特別会計	784,200	726,900	△57,300	△7.3
公共下水道事業特別会計	158,700	128,100	△30,600	△19.3
まむろ川温泉梅里苑事業特別会計	124,500	112,000	△12,500	△10.0
合 計	8,634,800	9,162,300	527,500	6.1

3 各種財政指数の推移(予測を含む)

単位:千円、%

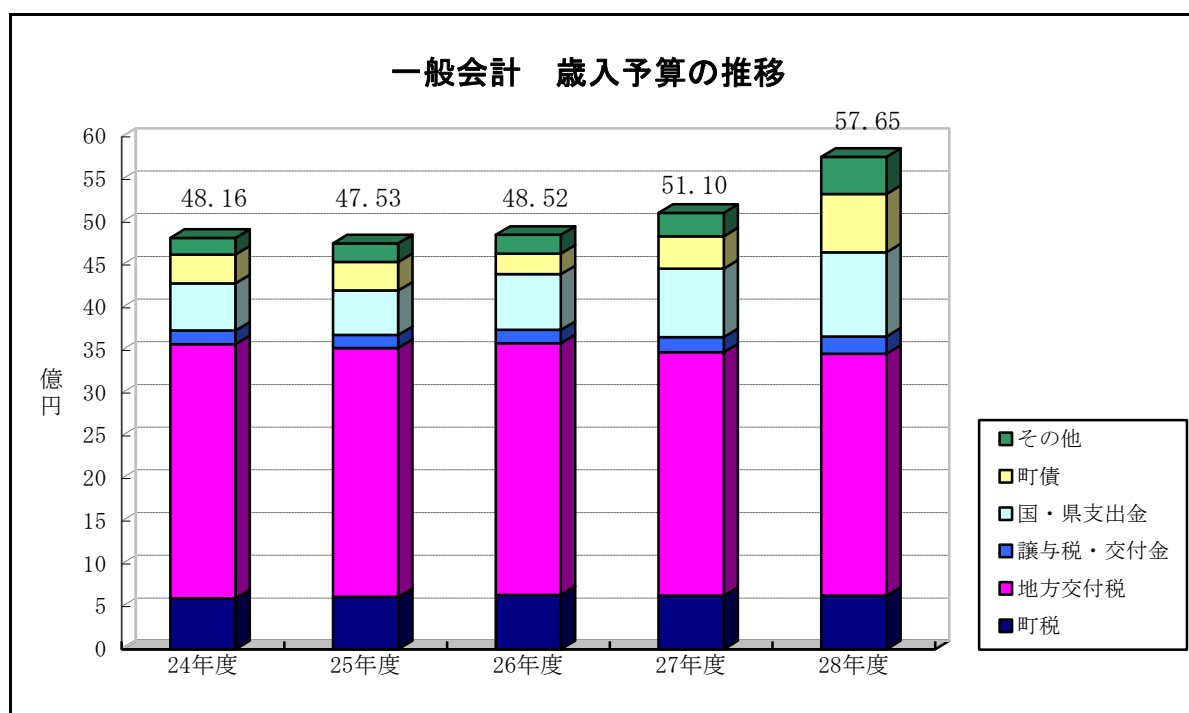
項 目	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
当初予算規模	4,816,000	4,753,000	4,852,000	5,110,000	5,765,000
実質公債費比率	9.2	7.9	6.6	6.1	5.8
将来負担比率	47.5	33.8	30.6	27.1	32.1
経常収支比率	80.2	80.0	80.6	82.0	82.5
標準財政規模(臨財含む)	3,874,822	3,908,393	3,728,381	3,775,887	3,682,117
地方債現在高(決算統計)	4,832,439	4,229,374	3,913,222	3,686,935	3,934,398
地方債現在高(一般会計)	5,098,878	4,389,073	4,025,076	3,778,215	4,004,854
地方債現在高(全会計)	8,163,697	7,361,669	6,954,479	6,696,481	6,917,162
債務負担行為翌年度以降 支出予定額	247,966	220,926	194,714	195,605	142,262
積立金現在高	1,240,108	1,302,070	1,439,126	1,573,576	1,483,892
年度当初職員数 (特別職を除く)	163	164	163	163	162
上記のうち一般行政職	86	86	86	86	87
住民基本台帳人口 (年度末)	8,821	8,668	8,462	(1月末) 8,295	-
65歳以上人口比率	33.6	34.5	35.5	(1月末) 36.1	-

町債年度末残高等の推移



4 一般会計 歳入

- 町税は、平成 27 年度の決算見込額をベースに、個人住民税は給与所得の伸びは鈍いものの、米価の持ち直しと青果物の動向から農業所得を増収と見込み、法人住民税は、昨年度の税率改正の変更による減収、固定資産税は建物の滅失等による減収を、軽自動車税とたばこ税は税制改正による増収から、全体では対前年度比 0.4%増加の 6 億 2,947 万 8 千円と見込みました。
- 地方譲与税、各種交付金は、平成 27 年度の決算見込額と全国ベースの伸び率を勘案し、全体で 2 億 140 万円を計上、対前年度比 2,285 万円、12.8%の増としました。
- 地方交付税のうち普通交付税は、前年度交付額と地方財政対策で示された全国ベースの減少率を勘案し、国勢調査の人口減少を踏まえた各種基礎数値や起債償還終了による算入額の減少と制度改正などにより、対前年度比 0.8%減の 25 億 3,000 万円とし、特別交付税は前年度同額の 3 億円を計上しました。
- 国・県支出金は、合わせて 9 億 8,710 万円で、対前年度比 1 億 8,690 万 6 千円、23.4%の増となりました。これは、橋梁整備や町営住宅改修に係る社会資本整備総合交付金が 1 億 2,888 万 5 千円の増、T P P 関連施策である町有林の間伐及び路網整備に係る合板・製材生産性強化対策事業補助金 4,208 万 5 千円の皆増、小中学校の施設改修に係る学校施設改善交付金 2,272 万 3 千円の皆増などによるものです。
- ふるさと納税寄附金は、平成 27 年度現計予算額と同額の 1 億円を計上、対前年度比 3,000 万円、42.9%の増としました。
- 繰入金は、町有施設整備基金 4,500 万円を子育て支援住宅整備事業に充当し、その他、財政調整基金 6,300 万円を繰入しています。
- 町債のうち臨時財政対策債は、地方財政対策で示された全国ベースの減少率を勘案し、対前年度比 5.8%減の 1 億 6,030 万円としました。その他の起債は、交付税措置率が高い辺地債、過疎債を中心に計上し、全体では 6 億 8,300 万円としました。



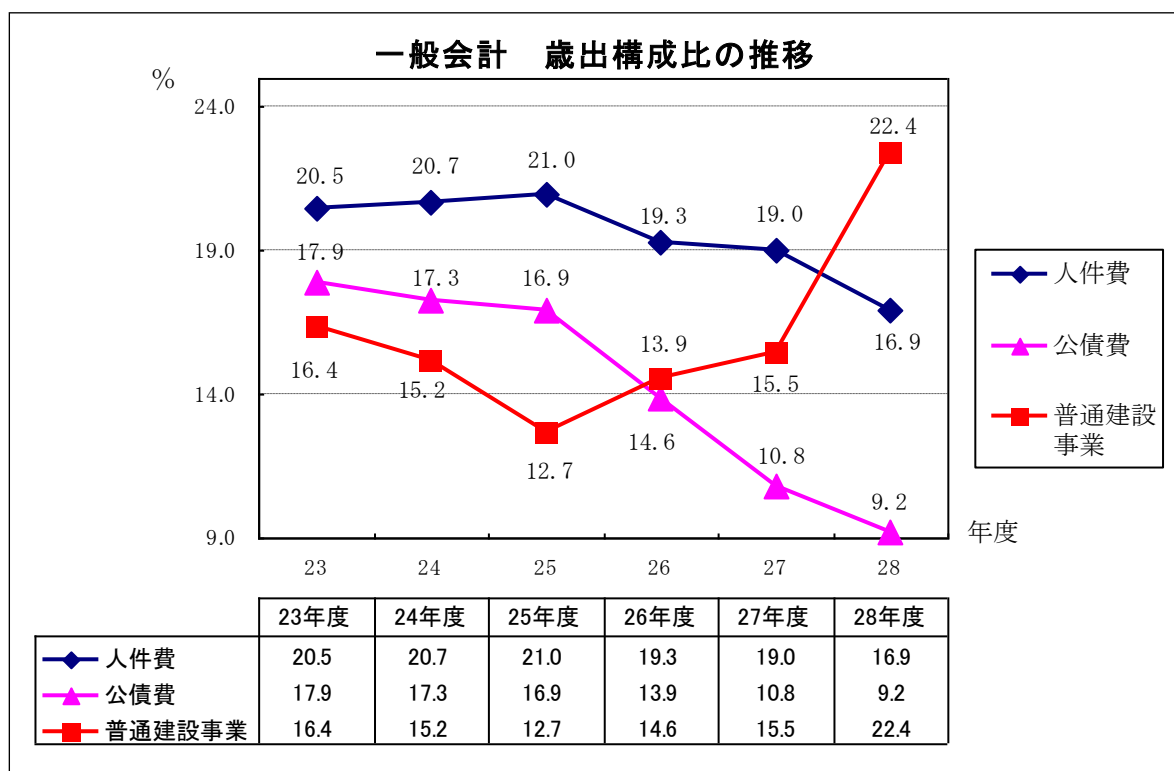
歳入 款別

(単位 : 千円、%)

款 名 称	平成27年度	平成28年度	比較増減	増減率	構成比
1 町 税	626,756	629,478	2,722	0.4	10.9
うち個人町民税現年分	206,837	211,550	4,713	2.3	3.7
うち法人町民税現年分	23,660	21,069	△ 2,591	△ 11.0	0.4
うち固定資産税現年分	287,482	284,133	△ 3,349	△ 1.2	4.9
2 地 方 譲 与 税	57,000	51,000	△ 6,000	△ 10.5	0.9
3 利 子 割 交 付 金	1,500	700	△ 800	△ 53.3	0.0
4 配 当 割 交 付 金	1,500	1,200	△ 300	△ 20.0	0.0
5 株式譲渡所得割交付金	200	400	200	100.0	0.0
6 地 方 消 費 税 交 付 金	110,000	140,000	30,000	27.3	2.4
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	6,500	6,200	△ 300	△ 4.6	0.1
8 地 方 特 例 交 付 金	850	900	50	5.9	0.0
9 地 方 交 付 税	2,850,012	2,830,000	△ 20,012	△ 0.7	49.1
10 交通安全対策特別交付金	1,000	1,000	0	0.0	0.0
11 分 担 金 及 び 負 担 金	10,026	12,475	2,449	24.4	0.2
12 使 用 料 及 び 手 数 料	79,444	79,409	△ 35	△ 0.0	1.4
13 国 庫 支 出 金	352,200	566,904	214,704	61.0	9.8
14 県 支 出 金	447,994	420,196	△ 27,798	△ 6.2	7.3
15 財 産 収 入	17,584	25,935	8,351	47.5	0.4
16 寄 附 金	70,000	100,000	30,000	42.9	1.7
17 繰 入 金	302	108,000	107,698	35,661.6	1.9
18 繰 越 金	50,000	50,000	0	0.0	0.9
19 諸 収 入	47,032	58,203	11,171	23.8	1.0
20 町 債	380,100	683,000	302,900	79.7	11.8
合 計	5,110,000	5,765,000	655,000	12.8	100.0

5 一般会計 歳出

- 人件費は、一般会計職員数を前年度同様の109名で積算しています。
- 公債費は、対前年度比2,068万4千円、3.7%減の5億3,324万円となっています。
- 扶助費は、臨時福祉給付金と低所得の障害・遺族基礎年金受給者向けの年金生活者等支援臨時福祉給付金を合計1,086万円計上しています。
- 物件費は、ふるさと納税経費の増額、地域おこし協力隊の増員、町制施行60周年記念関連事業、各種ソフト事業の充実などにより増額しました。
- 補助費は、地方創生に係る総合戦略事業の各種補助、最上広域市町村圏事務組合分担金、病院会計交付金、水道会計交付金、保育給付負担金、県総合・全国中学校スキー大会実行委員会補助金などが増額したことから、全体では対前年度比1億1,634万5千円、10.9%の大幅な増加となっています。
- 出資金は、真室川上水道と及位簡易水道を連結する真室川及位水道統合整備事業に対し、国が定める繰出基準に基づき、7,280万円を計上しています。
- 普通建設事業は、子育て支援住宅整備事業が1億8,294万2千円の皆増、TPP関連対策事業である大滝前山町有林の間伐及び路網整備に係る合板・製材生産性強化対策事業が5,354万9千円の皆増、橋梁架替や長寿命化、流雪溝整備、除雪車の更新などを行う社会資本整備交付金事業が対前年度比1億3,642万6千円増の2億9,496万4千円、町営住宅改修事業が6,311万8千円の皆増、ほ場整備事業が県営事業として実施設計に着手する春木地区を含み計5地区で1,358万4千円増の3,496万8千円など、対前年度比4億9,952万7千円の増額で、上記の出資金と合わせた実質的な普通建設事業費は、13億6,642万5千円、対前年度比54.0%、4億7,902万7千円の大幅な増額となっています。（投資的事業の詳細は22頁から25頁のとおりです。）



歳出 款別

(単位 : 千円、%)

款 名 称	平成27年度	平成28年度	比較増減	増減率	構成比
1 議 会 費	88,165	82,640	△ 5,525	△ 6.3	1.4
2 総 務 費	566,930	611,244	44,314	7.8	10.6
3 民 生 費	1,133,774	1,188,617	54,843	4.8	20.6
4 衛 生 費	708,495	737,259	28,764	4.1	12.8
5 労 働 費	6,697	10,063	3,366	50.3	0.2
6 農 林 水 産 業 費	411,379	482,822	71,443	17.4	8.4
7 商 工 費	91,999	120,643	28,644	31.1	2.1
8 土 木 費	693,062	1,133,181	440,119	63.5	19.7
9 消 防 費	206,662	214,089	7,427	3.6	3.7
10 教 育 費	576,103	582,312	6,209	1.1	10.1
11 災 害 復 旧 費	5,533	6,798	1,265	22.9	0.1
12 公 債 費	553,924	533,240	△ 20,684	△ 3.7	9.2
13 諸 支 出 金	64,277	59,092	△ 5,185	△ 8.1	1.0
14 予 備 費	3,000	3,000	0	0.0	0.1
合 計	5,110,000	5,765,000	655,000	12.8	100.0

歳出 性質別

(単位 : 千円、%)

分 類 名	平成27年度	平成28年度	比較増減	増減率	構成比
人 件 費	969,166	955,558	△ 13,608	△ 1.4	16.6
扶 助 費	350,187	360,229	10,042	2.9	6.2
公 債 費	553,924	533,240	△ 20,684	△ 3.7	9.2
物 件 費	648,784	697,687	48,903	7.5	12.1
維 持 補 修 費	137,247	143,213	5,966	4.3	2.5
補 助 費 等	1,064,747	1,181,092	116,345	10.9	20.5
積 立 金	196	18,316	18,120	9,244.9	0.3
投 資 ・ 出 資 ・ 貸 付 金	98,300	77,800	△ 20,500	△ 20.9	1.3
繰 出 金	484,818	494,442	9,624	2.0	8.6
普 通 建 設 事 業 費	794,098	1,293,625	499,527	62.9	22.4
う ち 補 助 事 業 費	295,669	525,370	229,701	77.7	9.1
う ち 単 独 事 業 費	498,429	768,255	269,826	54.1	13.3
災 害 復 旧 事 業 費	5,533	6,798	1,265	22.9	0.1
予 備 費	3,000	3,000	0	0.0	0.1
合 計	5,110,000	5,765,000	655,000	12.8	100.0

6 主要事業の概要

◇ いきいきと働き個性を創るまちづくり

区分	事業名	予算額 (千円)	概要	総合戦略 事業
継続	産業振興条例補助金	3,428	・町内企業の新設、増設又は移設した土地、建物、設備等に対し固定資産税相当額を3年間操業奨励金として交付（3社） ・雇用拡大する企業に1名あたり年間12万円を雇用奨励金として交付（5社 11名）	○
新規	資格取得支援事業	1,500	・町民が国家資格などを取得する場合に、その経費の1/2（上限10万円）を補助 ・就労におけるスキルアップと離職者の再就職支援を行い、雇用の機会を拡大 ・27年度は地方創生先行型臨時交付金事業として実施	○
拡充	空き家空き店舗活用支援事業	3,000	・空き家や空き店舗を改修して、事業を始めようとする者に対し、改修費の1/2（上限150万円）を補助 ・対象に空き家を追加し、範囲を都市計画区域内から町内全域に拡大 ・商工会の経営指導を受けることを要件に追加	○
拡充	地域おこし協力隊事業 （6次産業化推進・林業後継者育成含む）	23,204	・地域おこし協力隊を4名から6名に増員 ・6次産業化のほか交流事業、定住促進、地域おこしを推進 ・6名のうち1名を、杉苗生産の後継者育成枠として公募	○
継続	真室川ブランド推進事業 （6次産業化推進含む）	3,522	・商品開発、販売促進活動、小規模加工設備導入に補助 ・PRイベントの開催・各種イベントへの出展・出品 ・食育・地産地消推進計画を見直し、ポスターや標語により啓発活動を推進	○
拡充	環境王国推進事業	11,388	・付加価値の高い良食味米生産を奨励し、販路拡大を図る ・29年度の国際大会開催に向け、県内生産者を対象にしたプレ大会を実施 ・一定基準を充たす米 1俵あたり500円又は1,000円を補助	○
見直	農業後継者育成支援事業	15,826	・経営ステップアップセミナーを開催 ・9名1組に就農給付金 ・先進地視察研修などへの補助は終了	○
継続	戦略的園芸産地拡大支援事業	15,920	・うりい、ニラ、ネギ、ミニトマト、さといもの園芸機械購入、施設整備費の1/2をJA野菜生産組合及び1法人に補助	○
継続	畜産生産拡大支援事業	73,011	畜舎・堆肥舎・管理用機械整備費の1/2を3法人に補助	○
継続	ほ場整備事業	34,968	・春木地区が県営事業として実施設計を予定 ・平岡地区、真室川北部、川ノ内、平枝地区で調査計画を実施 ・調査計画に係る受益者負担が6千円/10aを超過しないよう町が負担	○
新規	合板・製材生産性強化対策事業	53,549	・大滝前山町有林 林業専用道開設 L=1,500m ・間伐施業 A=10ha ・国のTPP対策の補助事業により、間伐と路網整備を一体的に行うことで、間伐材の安定供給を図る	○

6 主要事業の概要

◇ 健康と福祉のまちづくり

区分	事業名	予算額 (千円)	概要	総合戦略 事業
拡充	保育料全年齢半額、 第3子無料化	-	・27年度から町独自に、町立保育所、認定こども園、小規模保育所の保育料を全年齢半額、第3子は同時入所にかかわらず無料化とし保護者負担を軽減 ・上記のほか、28年度から、国施策により年収約360万円未満のひとり親世帯は第2子以降も無料化	○
継続	認定こども園支援事業	83,555	・法定分の負担のほか、延長保育、一時預かり事業費、幼稚園に係る地方単独分を補助 ・国と町の保育料の差額、保育料半額化・無料化分を町独自で補助	○
継続	小規模保育所補助事業	24,038	・3歳未満児を保育する定員19人以下の小規模保育所に対し、法定分の負担を給付 ・保育料半額化・無料化分を町独自で補助	○
継続	子育て支援医療費給付事業	8,377	・対象者は中学3年生まで ・外来・入院時等の保険適用の自己負担医療費に全額補助 ・25年7月から最上地区広域連合が窓口	○
継続	児童手当	97,700	・3歳未満月額1万5千円、3歳以上中学校終了まで月額1万円、第3子以降は小学校終了まで1万5千円を支給（所得制限あり）	
見直	町単独福祉給付の見直	-	・対象者を、現行の町民税所得割額30万円未満世帯・本人から、町民税所得割非課税世帯・本人へ限定 ・見直しの対象となる事業は、紙おむつ支給事業をはじめとする町単独給付9事業	
継続	臨時福祉給付金給付事業	6,450	・消費税率引上げの影響緩和策 ・町民税均等割非課税者（28.1.1基準）に3千円を給付 ・支給開始は10月からを予定	
新規	年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業（H27国補正含む）	46,052	・賃金引上げの恩恵が及びにくい年金受給者への支援策 ・町民税均等割非課税者で28年度中に65歳以上となる高齢者、または、臨時福祉給付金対象者で障害基礎年金又は遺族基礎年金を受給している者に3万円を給付（前者と後者の重複支給はない） ・65歳以上の高齢者分は27補正予算で7月までに支給予定、基礎年金受給者分は28当初予算で10月から支給予定	
継続	ヘルスケアポイント事業	360	・健康づくり、介護予防及び地域支え合い活動にポイントを付与 ・健康ポイント（国保会計）、地域支え合いポイント（介護会計）の2種類 ・50ポイントで5千円相当の商品券、健診無料券等と交換	○
継続	高齢者・障がい者世帯除雪支援事業	10,276	・一世帯あたり利用可能作業員を24年度から8人に拡充 ・社会福祉協議会が窓口となり、高齢者住宅の日常除雪など、地域共助除雪に取り組む地区に対し補助	○
継続	町立真室川病院経営	-	・へき地等病院医師配置標準特例許可が30年12月まで延長 ・超音波診断装置等の更新 ・県が策定する地域医療構想を踏まえ「新公立病院改革プラン」を年度内に策定	

6 主要事業の概要

◇ 心豊かな人と文化を育むまちづくり

区分	事業名	予算額 (千円)	概要	総合戦略 事業
一部 新規	放課後児童健全育成 事業	15,928	・放課後児童クラブの運営を社会福祉協議会に委託 ・27年度より、月額利用料を軽減 ・利用児童の増加に伴い、真室川学童クラブの改修工事により環境を整備	○
一部 新規	確かな学力の育成	-	・授業力向上、小中連携を目的に教職員の全体研修を実施 ・学習指導員、英語指導員等を配置（別掲） ・家庭学習の定着を図るため、学力向上プランの策定にあわせ「家庭学習のすすめ」を作成し配布 ・算数・数学学力の強化として、最上管内広域的な巡回指導を実施	
継続	学習指導員・学習支援員等の配置	23,963	・学習指導員を6名、学習支援員を2名配置 ・学校支援地域本部事業コーディネーターを各小中学校に配置することで、地域連携と学習支援を一体的に推進	
継続	英語力向上事業	6,828	・英語指導補助員と英語活動補助員を配置	
拡充	スクールバス運転及び公共施設維持管理委託	31,255	・スクールバスの運行と一部公共施設の維持管理部分を業務委託 ・中学校の部活動遠征の一部を運行業務に追加	
新規	新庄神室産業高校真室川校就学支援事業	3,500	・入学者の増加を目的に同校の存続を支援 ・入学生に対し、1年次は制服等購入費用、通学費用として10万円/人を補助 ・2年次以降は通学費用として5万円/人を補助	○
継続	クロスカントリースキー振興事業	2,886	・当町で開催される全国中学校スキー大会に向けた強化策 ・中学生に対し各種上位大会出場や合宿旅費、用具購入に補助 ・小学生に対し、競技人口拡大のためイベントや教室を開催	
新規	県総合・全国中学校スキー大会の開催	10,198	・29年1月に県総合スキー大会、2月に全国中学校スキー大会のクロスカントリー競技を当町で実施 ・大会運営経費を実行委員会へ補助	
新規	歴史民俗資料館特別企画展事業	2,223	・没後370年にあたる郷土の英傑 鮭延秀綱の特別展を開催 ・27年度に修復した町指定文化財の木造薬師如来坐像を展示	
見直	地域づくり活動支援事業	3,721	・地域課題解決のための計画策定費 1万円/地区 ・地域活動を行う費用として、基本額3万円/地区に1世帯あたり300円を加算した額を上限に補助	
継続	公民館分館運営費補助事業	1,120	・各分館の維持管理経費に対し、一分館あたり年2万円を限度に補助	
継続	コミュニティ助成事業	5,000	・地域活動に必要な備品等購入費用に補助 ・1団体あたり250万円までの自治宝くじ助成金を活用	

6 主要事業の概要

◇ 快適で安心できるまちづくり

区分	事業名	予算額 (千円)	概要	総合戦略 事業
継続	町道整備事業	187,905	・道路改良6路線、舗装3路線、側溝整備1路線など	
一部 新規	社会資本整備交付金 事業（H27国補正含 む）	405,964	・田代橋架替工事、橋梁長寿命化修繕工事、橋梁長寿命化 点検診断、流雪溝概略設計、除雪車更新1台など ・左記の事業費には27補正予算対応の町道中村高坂線災害 防除事業111,000千円を含む	
継続	冬期交通費	87,465	・32名16班体制により直営で実施 ・作業員賃金体系の見直しにより処遇を改善	
継続	真室川公園整備事業	22,000	・園路等の実施設計	
新規	町営住宅改修事業	63,865	・錦町住宅の台所、トイレ、浴室等の改修 ・宮沢住宅、梅の里住宅の水廻り改修の実施設計	
新規	子育て支援住宅整備 事業	182,942	・子育て世帯の入居を前提に1棟6戸を整備	○
継続	住環境快適サポート 事業	51,112	・住宅の新築、改築、耐震化に補助 ・改築の場合、三世帯同居・移住・新婚・子育て世帯に増 額補助	○
継続	真室川及位水道統合 整備事業	264,300	・26年度より真室川上水道と及位簡易水道を連結する事業 を実施 ・配水池増設、ポンプ室外構整備、監視装置の改修を行 い、完了する計画	
継続	公共下水道整備事業	31,026	・曙町地区、子育て支援住宅、錦町住宅の整備	
一部 新規	防災力基盤強化事業	40,661	・土砂災害区域と浸水想定区域を明示したハザードマップ を作成し、全戸に配布 ・小型動力ポンプ更新2台、小型動力ポンプ付積載車更新1 台 ・最上広域市町村圏事務組合で西消防支署建設工事、高規 格救急車更新等を実施（分担金）	一部
新規	危険老朽空き家解体 助成事業	900	・所有者の世帯が町民税非課税である場合に、特定危険空 き家の解体に対し補助 ・補助率1/3、上限30万円	
継続	町営バス運行事業	43,203	・路線バス4路線のほか、未運行地区でデマンドタクシーを 委託により運行 ・及位線バス更新	○
継続	集落街路灯LED化 促進事業	12,800	・地区が管理する約1,220基の街路灯を27年度から3か年で LED化し、電気料を削減することで、実質的な地区負担 を軽減 ・28年度は安楽城地区の320基を実施	○

6 主要事業の概要

◇ ひと・もの・こころが交流するまちづくり

区分	事業名	予算額 (千円)	概要	総合戦略 事業
継続	東京真室川会交流事業	710	・東京真室川会に対する運営費補助・交流経費	
継続	古河市姉妹都市交流事業	1,190	・イベントや物販などによる相互交流の実施 ・歴史教育を含めた小学生交流の実施	
継続	ふるさと寄附金	71,786	・町産品を積極的にPRする機会として、返礼品を充実 ・申請件数1万件、寄附金額1億円を目指す	
拡充	真室川音頭発信事業	5,990	・真室川音頭全国大会を東京都荒川区で開催 ・当町発祥の「真室川音頭」をツールにした情報発信を展開 ・出囃子に真室川音頭を使用している落語家を応援大使に委嘱	
継続	結婚応援事業	765	・結婚支援員による世話役活動を推進 ・有志によるイベント開催に補助し、出会いの場を創出 ・広域的取組ややまがた出会いサポートセンターと連携した事業実施	○
拡充	地域おこし協力隊事業 (再掲)	23,204	・地域おこし協力隊を4名から6名に増員 ・6次産業化のほか交流事業、定住促進、地域おこしを推進 ・6名のうち1名を、杉苗生産の後継者育成枠として公募	○
拡充	観光イベントの開催	8,613	・梅まつり、梅の里マラソン、真室川まつり、溪流釣り大会、アユ釣り大会、真室川まるごとツアーを開催 ・真室川まるごとツアーは町内資源を活用したグリーンツーリズムとしてリニューアル ・アユ釣り大会は、ノジマフィッシングスクール杯全国大会を兼ねて実施	○
継続	まむろ川温泉梅里苑 経営	-	・交流促進事業の中核施設 ・26年1月から木質チップボイラー稼働 ・温泉濾過装置改修、遊楽館大ホール絨毯更新	○

7 国民健康保険特別会計

国民皆保険の要である国民健康保険事業は、管内4町村による最上地区広域連合を組織し、賦課や給付等の事務を行っており、町では保険料の徴収や各種検診、生活習慣病改善などの保健事業を行っています。

平成28年1月末現在の国保加入世帯数は3,466世帯、被保険者数は6,366人で、うち真室川町は1,267世帯、2,265人といずれも減少傾向にある一方、医療給付費の伸びにより、平成27年6月に保険料率の改定を行いました。

歳入では、繰入金が保険基盤安定制度負担金の増などにより1,984万5千円の増額、諸収入は広域連合からの総合保健施設運営事業交付金を計上しました。

歳出では、最上地区広域連合納付金が保険基盤安定制度負担金の増により1,844万8千円の増額となりました。

以上のことから、平成28年度国民健康保険特別会計の当初予算案は、歳入歳出それぞれ8,940万円、対前年度比28.6% 1,990万円の増額とする編成をしたところです。

歳 入

(単位：千円、%)

項 目	平成27年度	平成28年度	比較増減	増減率
1 繰入金	52,662	72,507	19,845	37.7
2 繰越金	238	293	55	23.1
3 諸収入	16,600	16,600	0	0
合 計	69,500	89,400	19,900	28.6

歳 出

(単位：千円、%)

項 目	平成27年度	平成28年度	比較増減	増減率
1 総務費	80	205	125	156.3
2 保健事業費	30,106	31,617	1,511	5.0
3 健康管理センター 施設費	824	585	△239	△29.0
4 最上地区広域連合 納付金	38,252	56,700	18,448	48.2
5 予備費	238	293	55	23.1
合 計	69,500	89,400	19,900	28.6

8 後期高齢者医療特別会計

75 歳以上の高齢者を対象とした後期高齢者医療制度は、県内全市町村で構成する山形県後期高齢者医療広域連合で賦課や給付を、市町村で窓口業務や保険料徴収などを行っております。

2 年ごとに保険料率を見直すことが高齢者の医療の確保に関する法律で定められており、平成 28 年度の保険料率改定は、均等割が 39,500 円から 41,700 円に、所得割が 7.84%から 8.58%に決定され、一人当たりの保険料の上昇率が 2.32%となりました。

また、低所得者の保険料軽減判定基準が拡大され、保険料軽減特例措置が継続実施されますが、被保険者数が減少する中で、新規被保険者の保険料軽減該当比率も高まっております。

以上のことから、平成 28 年度後期高齢者医療特別会計の当初予算案は、歳入歳出それぞれ 8,210 万円、対前年度比 2.4%、200 万円の減額とする編成をしたところです。

歳 入

(単位:千円、%)

項 目	平成 27 年度	平成 28 年度	比較増減	増減率
1 後期高齢者医療 保険料	48,007	44,899	△3,108	△6.5
2 使用料及び手数料	15	15	0	0.0
3 繰入金	35,091	36,050	959	2.7
4 繰越金	284	433	149	52.5
5 諸収入	703	703	0	0.0
合 計	84,100	82,100	△2,000	△2.4

歳 出

(単位:千円、%)

項 目	平成 27 年度	平成 28 年度	比較増減	増減率
1 総務費	1,519	1,404	△115	△7.6
2 後期高齢者医療 広域連合納付金	81,679	79,645	△2,034	△2.5
3 諸支出金	600	600	0	0.0
4 予備費	302	451	149	49.3
合 計	84,100	82,100	△2,000	△2.4

9 介護保険特別会計

平成 27 年度から 29 年度までの第 6 期介護保険事業計画に基づき各種介護サービスを提供し、高齢者一人ひとりが、住み慣れた地域で、住民同士が支えあい、自分らしく安心して暮らし続けられるよう、地域包括ケアシステムの構築を推進します。

平成 28 年度は、第 6 期計画 2 年目となりますが、要介護認定者と介護サービス利用者は引き続き増加傾向にあります。

歳入では、介護保険料は前年度の賦課納付状況を踏まえ 1.6%増を、また、国庫支出金等は保険給付費に則した伸びを見込みました。

歳出では、保険給付費は 4.7%増額とし、また、介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、地域支援事業費は 5.1%増額としました。

以上のことから、平成 28 年度介護保険特別会計の当初予算案を、歳入歳出それぞれ 11 億 7,280 万円、対前年度比 4.2%、4,740 万円の増額とする編成としたところです。

歳 入

(単位：千円、%)

項目	平成 27 年度	平成 28 年度	比較増減	増減率
1 介護保険料	216,326	219,836	3,510	1.6
2 使用料及び手数料	1	1	0	0.0
3 国庫支出金	282,243	297,406	15,163	5.4
4 支払基金交付金	295,303	312,095	16,792	5.7
5 県支出金	163,920	173,551	9,631	5.9
6 財産収入	1	1	0	0.0
7 繰入金	164,181	166,525	2,344	1.4
8 繰越金	500	1,500	1,000	200.0
9 諸収入	2,925	1,885	△1,040	△35.6
歳入合計	1,125,400	1,172,800	47,400	4.2

歳 出

(単位：千円、%)

項目	平成 27 年度	平成 28 年度	比較増減	増減率
1 総務費	27,226	23,314	△3,912	△14.4
2 保険給付費	1,048,297	1,098,044	49,747	4.7
3 地域支援事業費	30,441	32,007	1,566	5.1
4 基金積立金	1	1	0	0.0
5 公債費	18,434	18,433	△1	0.0
6 諸支出金	501	501	0	0.0
7 予備費	500	500	0	0.0
歳出合計	1,125,400	1,172,800	47,400	4.2

10 町立真室川病院事業会計

我が国の医療費は、高齢化の進展、慢性疾患等への疾病構造の変化、医療の高度化によって、その増加傾向はますます著しくなることが予想されます。

町立真室川病院は、「ヘルス케어センターまむろ川」の中核を担い、保健・医療・福祉の総合的、一体的なサービス提供を行っており、いつでも安心して医療が受けられるよう計画的に体制整備を進めています。しかしながら、最重要課題の医師確保については日常的に取り組みを継続しているものの、山形大学医学部附属病院や県立新庄病院等からの応援医師の派遣に依存せざるを得ない、厳しい病院運営となっています。

山形県からの「へき地等病院医師配置標準特例許可」については、平成 30 年 12 月まで更に 3 年間延長して許可が出されましたが、病院の経営改善と住民の福祉向上のために、医師不足の解消、常勤医師確保に全力で取り組みます。

また、国から通知されている「新公立病院改革ガイドライン」及び山形県が策定する地域医療構想を踏まえて、「新公立病院改革プラン」を策定し、経営改善をはじめ、病院機能の見直しや地域包括ケアシステム構築に取り組みます。

平成 28 年度における診療報酬改定案では、診療報酬全体で 0.84%のマイナス改定が決定されており、町立真室川病院事業の重点目標を下記のように定め、経営改善を図るとともに、超音波画像診断装置等の更新整備により、安全・安心な医療を提供していきます。

以上のことから平成 28 年度町立真室川病院事業会計の予算総額を 10 億 8,600 万円、対前年度比 7.8%、9,240 万円の減額とする予算を編成したところです。

平成 28 年度町立真室川病院の事業目標

1. 収益の増収対策

- (1) 超音波画像診断装置・内視鏡等検査の充実に伴う収益の確保
- (2) 禁煙外来の実施に伴う収益の確保
- (3) 13 : 1 入院基本料の堅持
- (4) 病床利用率向上・平均在院日数短縮による収益の確保
- (5) C T ・ M R I の稼働率向上に伴う収益の確保
- (6) レセプト査定減防止対策による収益の確保

2. 経費の節減対策

- (1) 光熱水費・燃料費・消耗品費等の節減
- (2) 賃借料・委託料の精査・見直し

3. その他

- (1) 患者サービスの徹底と職員資質向上研修の実施
- (2) 医師等医療従事者の安定確保
- (3) 訪問診療・訪問看護の推進
- (4) 他医療機関との連携（患者紹介率・逆紹介率の向上含む）
- (5) インフルエンザ等感染症予防の徹底

収益的收入 (単位：千円、%)

項 目	平成27年度	平成28年度	比較増減	増減率
1 医業収益	884,733	795,909	△ 88,824	△ 10.0
うち入院収益	505,173	437,622	△ 67,551	△ 13.4
うち外来収益	300,230	280,704	△ 19,526	△ 6.5
2 医業外収益	216,764	229,588	12,824	5.9
うち負担金及び補助金	197,858	209,452	11,594	5.9
うち国県補助金	2,331	4,195	1,864	80.0
3 特別利益	3	3	0	0.0
合 計	1,101,500	1,025,500	△ 76,000	△ 6.9

収益の支出 (単位：千円、%)

項 目	平成27年度	平成28年度	比較増減	増減率
1 医業費用	1,088,886	1,013,015	△ 75,871	△ 7.0
うち給与費	558,659	560,392	1,733	0.3
うち材料費	245,616	174,127	△ 71,489	△ 29.1
うち経費	236,952	227,713	△ 9,239	△ 3.9
うち減価償却費	44,445	47,068	2,623	5.9
2 医業外費用	10,611	9,983	△ 628	△ 5.9
3 特別損失	3	502	499	16,633.3
4 予備費	2,000	2,000	0	0.0
合 計	1,101,500	1,025,500	△ 76,000	△ 6.9

資本的收入 (単位：千円、%)

項 目	平成27年度	平成28年度	比較増減	増減率
1 企業債	23,700	14,000	△ 9,700	△ 40.9
2 補助金	2,700	2,700	0	0.0
負担金	5,786	0	△ 5,786	皆減
留保資金等による補填額	44,714	43,800	△ 914	△ 2.0
合 計	76,900	60,500	△ 16,400	△ 21.3

資本的支出 (単位：千円、%)

項 目	平成27年度	平成28年度	比較増減	増減率
1 建設改良費	40,001	21,308	△ 18,693	△ 46.7
2 企業債償還金	36,899	39,192	2,293	6.2
合 計	76,900	60,500	△ 16,400	△ 21.3

11 水道事業特別会計

真室川上水道と及位簡易水道を連結する真室川及位水道統合整備事業は、工事実施計画期間 3 か年の最終年度となり、神ヶ沢・川ノ内配水池の増設や釜淵・栗谷沢送水ポンプ室の外構整備、監視設備の改修を行い、すべて完了する計画です。

その他の建設改良費として、県道真室川鮭川線の道路改良に合わせた安久土橋右岸と関沢地内並びに町道改良等による管路布設替工事を計上しています。

また、昨年度から実施している水道料金平準化の検証を随時行い、引き続き未収金対策の強化を図ります。

以上のことから、平成 28 年度水道事業特別会計の当初予算案は、7 億 2,690 万円、対前年度比 7.3%、5,730 万円の減額とする編成をしたところです。

収益的収入

(単位：千円、%)

項 目	平成 27 年度	平成 28 年度	比較増減	増減率
1 営業収益	204,113	180,352	△23,761	△11.6
2 営業外収益	109,384	149,645	40,261	36.8
3 特別利益	3	3	0	0.0
合 計	313,500	330,000	16,500	5.3

収益的支出

(単位：千円、%)

項 目	平成 27 年度	平成 28 年度	比較増減	増減率
1 営業費用	281,036	298,076	17,040	6.1
2 営業外費用	32,362	31,823	△539	△1.7
3 特別損失	2	1	△1	△50.0
4 予備費	100	100	0	0.0
合 計	313,500	330,000	16,500	5.3

資本的收入

(単位：千円、%)

項 目	平成 27 年度	平成 28 年度	比較増減	増減率
1 企業債	173,400	115,500	△57,900	△33.4
2 出資金	93,300	72,800	△20,500	△22.0
3 国庫補助金	93,333	72,800	△20,533	△22.0
4 雑入	5,184	0	△5,184	皆減
留保資金等による補填額	105,483	135,800	30,317	28.7
合 計	470,700	396,900	△73,800	△15.7

資本的支出

(単位：千円、%)

項 目	平成 27 年度	平成 28 年度	比較増減	増減率
1 建設改良費	397,486	320,574	△76,912	△19.3
2 企業債償還金	73,214	76,326	3,112	4.3
合 計	470,700	396,900	△73,800	△15.7

12 公共下水道事業特別会計

平成 14 年から順次供用を開始してきた下水道整備事業は、曙町地区において、昨年度の面的整備に引き続き、今年度は国道横断工事と圧送ポンプ整備を行う計画としました。

平成 26 年度末の水洗化率は 50.4%にとどまっていることから、住宅リフォーム補助や下水道切替補助などの各種補助制度を体系立てて周知するとともに、子育て支援住宅の新築や錦町住宅の改修に合わせて管路整備を行い加入促進に努めます。

以上のことから、平成 28 年度公共下水道事業特別会計の当初予算案は、歳入歳出それぞれ 1 億 2,810 万円、対前年度比 19.3%、3,060 万円の減額とする編成をしたところです。

歳 入 (単位：千円、%)

項 目	平成 27 年度	平成 28 年度	比較増減	増減率
1 国庫支出金	27,000	14,600	△12,400	△45.9
2 繰入金	85,000	80,300	△4,700	△5.5
3 繰越金	500	500	0	0.0
4 町債	27,000	12,300	△14,700	△54.4
5 使用料及び手数料	19,199	20,399	1,200	6.3
6 諸収入	1	1	0	0.0
計	158,700	128,100	△30,600	△19.3

歳 出 (単位：千円、%)

項 目	平成 27 年度	平成 28 年度	比較増減	増減率
1 下水道費	99,592	67,669	△31,923	△32.1
2 公債費	59,108	60,431	1,323	2.2
計	158,700	128,100	△30,600	△19.3

13 まむろ川温泉梅里苑事業特別会計

平成26年度から梅里苑とともにイベントハウス遊楽館とコテージ等森林空間活用施設を一体的に特別会計として運営しています。

これまで、梅里苑の温浴施設をはじめとする大規模改修、木質チップボイラー導入などの機能強化を図ってまいりました。今後も、「美肌の湯」、「真室川町ならではのおいしい料理」をコンセプトとし、様々な誘客活動を計画するとともに、観光の拠点施設、町民の保養施設としての利用を促進してまいります。

平成28年度は各施設運営経費のほか、臨時的費用として、梅里苑濾過装置改修工事、遊楽館大ホール絨毯更新、森林トロッコの軌道修繕などを計画しました。

以上のことから、平成28年度まむろ川温泉梅里苑事業特別会計の当初予算案は、歳入歳出それぞれを1億1,200万円、対前年度比10.0%、1,250万円の減額となる編成としたところです。

歳 入

(単位：千円、%)

項 目	平成27年度	平成28年度	比較増減	増減率
1 使用料	43,479	42,310	△1,169	△2.7
2 繰入金	40,500	34,500	△6,000	△14.8
3 繰越金	2,000	2,500	500	25.0
4 諸収入	38,521	32,690	△5,831	△15.1
合 計	124,500	112,000	△12,500	△10.0

歳 出

(単位：千円、%)

項 目	平成27年度	平成28年度	比較増減	増減率
1 まむろ川温泉梅里苑管理費	124,300	111,700	△12,600	△10.1
2 予備費	200	300	100	50.0
合 計	124,500	112,000	△12,500	△10.0

14 投資的事業の概要

(会計、担当課ごとに款項目順にて記載)

単位：千円

担当	新規 継続 の別	事業名	事業概要	予算額	財源内訳			
					国	県	起債 その他	一般 財源
総務	新規	公用車更新事業	公用車1台	2,000				2,000
	新規	県防災行政通信ネットワーク整備事業負担金	県防災行政通信ネットワーク整備	20,006			20,000	6
	継続	小型動力ポンプ付積載車更新事業	新及位	6,359			6,000	359
	継続	小型動力ポンプ更新事業	東町、滝ノ上	3,570				3,570
	継続	消防小屋新築事業	鏡沢	2,673				2,673
	新規	最上広域市町村圏事務組合 消防西支署庁舎整備事業 (分担金)	—	18,279			18,000	279
	新規	最上広域市町村圏事務組合 高規格救急自動車更新事業 (分担金)	—	3,997			3,500	497
建設	継続	県営道路事業負担金	—	31,967				31,967
	継続	道路情報管理システム整備事業	台帳データ化 L=192.7km	27,820				27,820
	継続	道路維持補修事業	町道補修等	5,000				5,000
	新規	町道雪崩防護柵塗装事業	新及位中ノ股線21基、 滝ノ上線5基	5,460				5,460
	継続	町道新及位中ノ股線道路改良事業	測量設計・法面工 改良L=60m	37,920			37,900	20
	継続	町道栗谷沢畑野線道路改良事業	改良L=200m	22,000			22,000	0
	継続	(仮称)町道秋山4号線道路改良事業	改良L=180m	18,000			18,000	0
	新規	町道川ノ内大石川線道路改良事業	測量設計 改良L=20m	19,780				19,780
	継続	町道長沢前牛潜線道路改良事業	改良L=285m	14,790				14,790
	継続	(仮称)町道新栄町4号線道路改良事業	改良L=120m	12,000			12,000	0
	新規	町道砂子沢小国線側溝整備事業	L=40m	1,500				1,500
	新規	町道舗装整備事業	3カ所、A=3,200㎡	12,800				12,800
	新規	町道小又上小又線法面对策事業	法面掘削整形	4,000				4,000
	継続	交通安全施設整備事業	—	2,000	1,000			1,000
	新規	町道役場前線道路改良事業	用地買収、物件補償費	4,200				4,200
	新規	町道小国3号支線道路改良事業	測量設計L=190m	9,400				9,400

14 投資的事業の概要

(会計、担当課ごとに款項目順にて記載)

単位：千円

担当	新規 継続 の別	事業名	事業概要	予算額	財源内訳			
					国	県	起債 その他	一般 財源
建設	継続	田代橋架替事業	上部工L=45m 取付道路L=175m	126,100	81,250		44,800	50
	継続	橋梁長寿命化修繕事業	修繕4橋 定期点検・診断	119,200	76,700			42,500
	継続	下三滝橋架替事業	実施設計	20,850	13,065		7,700	85
	新規	宮町地区流雪溝整備事業	概略設計	5,100	3,000		2,100	0
	新規	除雪機械更新事業	ドーザ1台 真室川地区	21,514	14,342			7,172
	継続	真室川公園整備事業	園路等実施設計	22,000	11,000			11,000
	新規	町営住宅改修事業	錦町住宅水廻り改修等	63,865	18,423		42,600	2,842
	新規	子育て支援住宅整備事業	住宅新築1棟6戸	182,942			179,600	3,342
	新規	がけ地近接等危険住宅移転事業	解体補助1件	802	401	200		201
	拡充	住環境快適サポート事業	住宅新築・改築補助 耐震改修補助	23,540	470	10,150		12,920
	拡充	浄化槽設置整備事業	浄化槽設置補助40基	26,700	5,227	8,988		12,485
	継続	県営急傾斜地対策事業負担金	—	14,181				14,181
農林	新規	旧及位地区高齢者活動促進 施設屋根塗装事業	A=500㎡	2,500				2,500
	継続	戦略的園芸産地拡大支援事業	パイプハウス等整備補助	15,920		13,267		2,653
	継続	畜産生産拡大支援事業	牛舎及び付帯施設整備 等に対する補助	73,011		60,844		12,167
	継続	春木地区ほ場整備事業 (県営事業負担金)	実施設計	7,875			7,875	0
	継続	平岡地区ほ場整備事業	調査計画	9,720		3,600	3,060	3,060
	継続	真室川北部地区ほ場整備事業	換地等調整	4,320		3,080	620	620
	継続	平枝地区ほ場整備事業	地形図作成	4,104		2,926	589	589
	継続	川ノ内地区ほ場整備事業	地形図作成	5,724		4,081	821	822
	新規	下田表地区水路整備事業	L=100m	4,320		2,360	1,482	478
	継続	釜淵堰県営防災減災事業負担金	水路改修工事 L=150m	5,880				5,880

14 投資的事業の概要

(会計、担当課ごとに款項目順にて記載)

単位：千円

担当	新規 継続 の別	事業名	事業概要	予算額	財源内訳			
					国	県	起債 その他	一般 財源
農 林	新規	大滝前山町有林 合板・製材 生産性強化対策事業	林道開設L=1500m、 間伐A=10ha	53,549	42,085			11,464
	継続	美しい森林づくり基盤整備 事業	交付金 A=17ha	3,323	2,770			553
町 民	継続	太陽光発電住宅促進事業	太陽光発電装置設置 補助 3件	600				600
	継続	集落街路灯LED化促進事業	集落街路灯LED化 安楽城地区 320基	12,800				12,800
	継続	路線バス更新事業	及位線	10,585			10,000	585
教 育	新規	真室川学童クラブ改修事業	学童クラブ居室改修	8,812	2,666	2,666		3,480
	新規	安楽城保育所屋根塗装事業	A=917㎡	4,122				4,122
	新規	あさひ小バリアフリー化改修 事業	エレベーター、多目的 トイレ設置他	47,282	14,328		32,500	454
	新規	真室川小屋根改修事業	校舎屋根改修	5,775				5,775
	新規	真室川小高圧受変電装置改修 事業	高圧受変電装置改修	1,976				1,976
	継続	小学校修繕事業	真小給食室床修繕 他	3,032				3,032
	新規	旧大滝小受電設備改修事業	受電設備改修	735				735
	新規	中学校体育館屋根改修事業	体育館屋根改修	25,439			25,000	439
	新規	中学校トイレ改修事業	トイレ洋式化	27,705	8,395		19,000	310
	新規	中央公民館改修事業	大ホール舞台吊物、後 幕改修	5,126				5,126
	新規	町民体育館修繕事業	非常用照明装置改修 他	3,705				3,705
	新規	町民武道館畳更新事業	武道館畳更新	5,090			3,240	1,850
	新規	小型無線機更新事業	20基	3,310				3,310
一 般 会 計 合 計				1,268,655	295,122	112,162	518,387	342,984

14 投資的事業の概要

(会計、担当課ごとに款項目順にて記載)

単位：千円

担当	新規 継続 の別	事業名	事業概要	予算額	財源内訳			
					国	県	起債 その他	一般 財源
病院	新規	医療機器購入事業	超音波診断装置他	16,847	2,700		14,000	147
水道	継続	真室川及位水道統合整備事業	配水池増設2ヶ所 送水ポンプ室外構2ヶ所 監視装置改修等	264,300	72,800		188,300	3,200
	継続	県道真室川鮭川線安久土工区 配水管布設替事業	配水管布設替 L = 80m	6,044				6,044
	継続	県道真室川鮭川線栗谷沢工区 配水管布設替事業	配水管布設替 L = 320m	18,360				18,360
	新規	(仮称)町道秋山4号線配水管 布設事業	配水管布設 L = 180m	10,260				10,260
	継続	(仮称)町道新栄町4号線配水 管布設事業	配水管布設 L = 120m	6,840				6,840
	継続	旧水道施設解体事業	解体2棟	6,772				6,772
下水	継続	公共下水道整備事業	マンホールポンプ 1 ヲ所 下水道管布設 L = 140m	31,026	14,600		15,520	906
	継続	生活排水処理整備事業	下水道切替補助15件	5,550				5,550
梅里苑	新規	濾過装置改修事業	濾過装置改修事業	3,635				3,635
	継続	森林トロッコ軌道修繕事業	トロッコ軌道修繕	2,000				2,000
	新規	遊楽館大ホール絨毯更新事業	大ホール絨毯更新 A = 456㎡	6,206				6,206
特別会計合計				377,840	90,100	0	217,820	69,920